

糖尿病に於て血糖増加は持続的狀態として必要なるものにして、之に附隨して糖尿を來すものなり。

Aring 及 Minkowski の有名な實驗は糖尿病の病理の上に今も尙ほ忘るべからざるものにして、即ち犬にて膀胱取出を行はれたるべき、其の代謝障礙は慢性にして而かも人間の糖尿病に一致せるものなるを認められたり。

人類糖尿病に於て中樞神經系の變化を別として、其の變化を認められたるは腺腫なるは否むべからず。其他同時に副腎に於て變化の認められたるあり。腺性糖尿病の存在は之を認めしむるも、其の腺、ホルモンは何れよりするが、從て其の糖尿病の上に重きをなすは實質なりや。

ラングルハンス氏島なりや、即ち糖尿病の實質發生説とラ氏島發生説との二つに分ち得べし。而して其の兩説尙ほ未だ解決に到らず。

ラ氏島の變化としては、之を質的に及び數量的に考察する要あり。質的に腺腫記載せらるるは島の萎縮、細胞浸潤、硬化、硝子糖變性又水腫性變性等なり。然れども常に必しも質的に明かなる變化を見るものにあらずして、一方數の減少の著しきを注意せられてより島發生説亦一生面を拓きたり。

余は曩に糖尿病の屍を檢して、總ての例に於てラ氏島に何等かの變(數)に於て又質に於てあるを見たり。其の變化の状態は各例に共通ならずとすも、島機能の障礙は期待すべく、腺性糖尿病に對する説明の上に其の發生に與へるものが、ラ氏島の變化なる事を考ふるの標當なるものとせり。殊に腺腫間脂肪織増し、實質は殆ど全く潰滅しラ氏島は明に多數存して糖尿を生前存せざりしは實質發生説に於て説明し得ざるなり。此の頃得たる糖尿病例に就て觀ると、腺腫は形態に著しき異常無く、尾部には多少萎小せらるも頭部には然らず、ラ氏島は數に於て少く、且つ萎小し、細胞は大小不同、間結締織(ラ氏島の)硝子糖を呈するもの著し。同例副腎には被膜厚し皮質の線維層は多少萎小又潰滅するもの僅に見らる。

其他尿管症に於て松果腺又腦下垂體の變化に重きを置かれたるあり。然れども其の疾病發生の本體を其れに歸すべきや。事實上第三腦質の底部即ち漏斗部内灰白結節部の如きの變化は此の際等に附し能はざるが如し。

又脂肪生殖腺病 Dystrophia adipos genitalis の發生亦腦下垂體の機能異常に歸せらる。而して其之を起すべき原因は、外にありて腦下垂體の機能を障礙する事亦考へらるる所なり。

動物試驗的に、又、人體例觀察の結果よりも明なり。又石灰代謝と上皮小體及び「テタニ」の關係も之に關聯して起る問題なり。生殖腺早熟と松果腺機能との關係も説かれ、殊に同腺の腫瘍との關係に於て其の腫瘍發生の年齢的關係は深く考慮せらるべきなり。内分泌の關係が精神生活の上に意義ある事は事實なり。從て内分泌腺の異常より精神的機能に異常を呈することは考へらるる所なり。

苑 說

ソウエート露西亞を瞥見して

子爵 後藤新平

諸種精神病も之を身體的異常と關聯して漸く研究の歩を進めらるるに到り、今迄唯機能の疾患とし總括せられしものの中に、種々肉眼的、又顯微鏡的變化の知られしもの存す。又内分泌の異常と關聯するこの想像せられて多少研究せられたるは、甲状腺又生殖腺等と精神機能との關係なり。殊に早發性癡呆に於て内分泌腺に生殖腺が一種の病的變化を呈することを唱ふる學者あり。斯る機能の疾患殊に其の病理の明ならざるものに向て向後内分泌腺の研究は其の病理闡明の上に必要なるものにして、其發生に光明を與ふるものあるべきを信す。

つてゐるならば、少しも恐ろしい事はないので、彼處で、カメネフ、スターリン等に面會しても、既に彼等は諒解してゐる事に氣付く。彼等が赤化宣傳でもつて、世界の無産階級を煽動して一時に蜂起させやうとする。所謂、世界改革の意氣込みは今はない。此の事は既に支那に對しても失敗した跡がある。況んや我が日本國を襲ふて怎う仕様うといふ事はない。日本の人々が、恐ろしい怖ろしいといつて蒙古の再來でも考へるやうに騒ぐのは、如何にも怪しく先方の國の人々に思はれる位、却つて恐ろしいと云ふ聲が先方の赤化宣傳を招くかと思はれぬではない。彼等は今宣傳をする事を努めてゐない。況んや日本との條約に於いて内亂を誘起さすべき宣傳をするといふ事は、明かに仕ないことを記載してゐる。故に外交官にしてさう云ふことに、力を貸すものがあつたならば、免職する。其の證據には、佛蘭西駐在の大使ワンコーフスキーの如きは既に免職になつてゐる。そして日本からドブガレフスキーが轉任したのであるが、そこで斯様なことは日本人にして恐るゝに足らない事なのである。又ついでに申上げて置きたいのは、彼の國の革命は同時に猶太人が政權を得んが爲である。猶太人が世界征服の勢を培つてゐるのである。これを知らずして交通し或は種々と彼我の間を斡旋しつゝあるが、それは今に猶太人の總解放に遭つて、日本國を猶太人に與へるのだといふそしりもあるのである。

私は日本性病豫防協會の總裁といふ職に居ながら、未だ何等御用にも得立たぬ事を遺憾に思ふ次第であるが、土肥慶藏君が會頭として圓滿なる努力を捧げてゐらるるので、私の至らぬところは、之れで皆さんから償ひとして、責を免れることが出来やうかと信じて謹んで茲に御禮申上げる次第で、又爾後は「サボタージュ」はしないで盡さうことを、御約束致して置きたい。

支拂をせねば濟まない次第である。餘り面白のお話もなければ、一つお話致さうかと思ふ。長くは空腹さを増すので話さない。又露西亞には先年土肥君が行かれたし、其の他の方々にも行かれた人もあつたから、敢えて珍らしい事ではないかも知れぬ。

斯く珍らしくないと思はるゝ露西亞で、珍らしく思はれるだらう事は、日本に誤解がある。露西亞を見る日本人の眼に誤解があると云ふ事である。何か、日本人が露西亞へ行けば、赤化宣傳に遭ふて來る。赤くならぬ迄も桃色にはなるだらうといふのは、一般が考へ又口にする所だ、之は甚しい迷信である。自分の身體にそれを引受ける素質があればこそ赤くもなり、桃色にもなるのである。併し固

露西亞に對する日本人の誤解

露西亞に行つて来て何か話があるだらう。斯ういふ總裁として、歡迎をして貰ふのであるから、露西亞に行つて來た丈けの話をして

これを猶太人が政権を掌握してゐるのが露西亞の政治だ等と我が國人がいつてゐるのであるが、知識のある日本國民としては、甚だおぞましい事であると思ふのである。

科學的基礎の上に成立せる革命

さうして尙ほ、此の改革或は革命といふ事の歴史上に顯れた總てを通過すると、其の凡ゆるものが、決して露西亞の革命と同じでない。露西亞の革命は殊に一種特別の革命である。到底他國では行はれない。さうして露西亞では適當であり、よい方法であるけれども、他の國ではさう云ふ革命は出来ぬ。露西亞にして、露西亞人にして、初めて成し得たのである。露西亞人なるものは、鈍感で鋭敏なところがない。忍耐強いといふ事が一つの國民性である。それで、初めて革命が出来る、成就するのである。それでも仲々非常な困難をもつて此處迄進んで來たのである。そして其の革命は科學的基礎の上に成立してゐるのである。これは日本等では見られない事である。又科學的に諸種の施設が具備してゐる處でも、一々科學的に施設をなす事は仲々不可能なものである。これは露西亞でなければ出来ない。さう云ふところが、即ち露西亞の露西亞たる處だと思ふ。

困難なる入黨手續

第一、病院は無料である。私は殊に驚いたのである。尤も此の施設は良い様であるけれども、玆五十年を経過してみぬと、此の施設が果して良い事か否かは判らぬのである。病院は無料である。醫師は其處にいつて給料を取り、診療に従事し、或は事務をとる事となる。醫學を研究するものが、無料で診療に従事するのであるから如何にも自分達の慾を充たすに足らない所があつて、自然發明や、發見等が遅れるであらうと云ふ事が、一つの悪影響である。然るに「ボルセイスマス」即ち共產主義の組織は、根本的に於いて義務を盡すと云ふことである。其共產主義に傾いて、義務を盡すに云ふ事に凝り固つた以上は、其

の憂は少なくする事が出来るであらうけれども、併し日本の様に八時間労働してゐたものは六時間にして「サボタージユ」をして、無償で給料を取ると云ふ考へで、露西亞人がゐるものだと思つてゐたならば、それは大變な間違ひである。其の義務を盡くすと云ふ事はどうして出来るかと云ふと、先づ共產黨と云ふ黨に入黨するのには、仲々簡単に遣入れない。昔、武士として、御抱になると同じ事である。もう此の男は、自分の義務を怠る様なものではないと云ふ鑑定が、判然しないと入黨させない。革命後六十萬人の共產黨員は出來たが其の後少しも増加しない事に依つても、如何に入黨に注意するか判る。此の六十萬人である事は、革命直後から今日に至るまで續いてゐる。これは政治も安全に落付くと云ふ事はない。今の革命に、又變つて革命が起りはせぬかと思はれる。それで此の政黨員の増加しない譯けを調べなければならぬ。日本のやうに後藤新平が書いて、誰れそれが判をついて來ると、政黨員として誰れでも遣入れる。斯様な事は露西亞にはない。先づ二三年勤めて、種々の事がすつかり判つて、然る後政黨員になる。又小學校から、「レーニズム」や「マルクス」の事をすつかり教へて、大學を卒業しても、政黨員にはなれない。それは理窟を覺えた丈けで、事實に其の仕事が其の人に於けるべきか出来るかどうかの見定めが出来て、其の試験に及第して初めて、政黨員となり得るのである。

共產黨の病院

斯様に義務を盡すといふ事から、無料の病院を設立するといふ事になつた。給料も少ない、諸懸りも少ない。診療を受けるものも無い。料だといふ譯けである。日本のやうに「サボタージユ」を行つて、給料を餘計取ることをして企てるのが「ボルセイスマス」である。心を得てゐる國では到底出来ないことである。病院は随分立派に出來てゐる。此の病院について面白い話がある。諸君の中には御知り合の方があつても知れぬが、外交官に風間秋穂といふ人があつた。此の人の奥さんが彼地で

病氣で入院した。病院の諸設備があまりによく、待遇も非常によいので、澤山費用がかゝるだらうといふので、急いで退院させた。すると無料である。無料ではもつこ入れておけばよかつたと言つたといふ事實がある。斯様な次第でなか／＼大へんなことである。考へられるのであるが、それはなか／＼よく出來てゐる。併し定員数が定つてゐる。千人いれるか萬人いれるか、其の病院によつて定つてゐる。千人や萬人の設備があつても、それから上に五萬人になり、十萬人になるといふ風に数が多くなつたならば、それは收容し切れない。故に順番があつて、番號札を渡し、番號によつて初めて入院することにゐるのである。だから勢ひ、他の醫師のところへうである。だから勢ひ、他の醫師のところへ盛んにゆく、随つて斯う云ふ醫師も必要であるといふことが起る。一寸談の綾が混み合つてゐるのでわからぬところがあるかも知れないが、先づさういふ譯けで、療法は只でやるがなか／＼應じ切れないのである。

工場と託兒所

私が彼の地訪問の際、工場を視察したが、其工場は兄弟三人の持ちもので、一萬人の職工を使用してゐる。これを労働政府は、革命當時、其法律によつて無償で取り上げて仕舞ひ、兄弟三人は追はれて佛蘭西に逃げて仕舞つた。そして今は國營になつてゐるのであるが、其の工場を視察すると、獨身者、婦人、年少者

囚人生活の一斑

又いつも話すことであるから、彼の地の監獄では典獄其の他二三人の者は素より囚人ではないが、後は皆囚人である。役人すら囚人である。これ等の囚人に刑期の長短あるは勿論であるが、其の工合によつて誰は一月に二度、或は三度親戚知朋友に面會してよいと規定され、面會するに當つては、誰一人立合ふものもない。

共產黨員の義務觀念

斯ういふ工合だから只で病院等を設立することも出来る。だから自分丈け長くなる譯けにはゆかぬ。後からどし／＼せめてくるから大抵のところで退院させて仕舞ふ。此の義務の觀念が確かに其共產主義に盡すといふことがなければならぬ。それで共產黨に遣入ることを許されたと同時に、さうして共產主義のものは月給も安い、學校等に行つても安い。共產主義でない人は餘計とる。共產主義のものは餘計とれない。只後の恩給や何かで良く

